

運動療法学

[講義] 第2学年 前期 必修 1単位

《担当者名》○山根裕司 ya_yuji_426@hoku-iryo-u.ac.jp 佐々木祐二 中村宅雄

【概要】

本科目では、関節可動域制限や筋力低下、持久力低下といった基本的な障害に対する各種運動療法を実施するうえで必要となる、基礎理論について学習する。

【学修目標】

一般目標

基本的な運動障害の原因を理解し、目的に応じた運動療法を選択、実施できるようになるために、解剖、生理学および運動療法学領域の基礎知識を身につける。

行動目標

1. 運動療法の基礎理論について説明できる。
2. 各種障害に応じた運動療法について適応を判断し適切な方法を選択できる。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	運動療法総論	運動療法の定義と目的、運動の種類について学ぶ。	山根裕司
2	痛みに対する運動療法	痛みの原因と痛みに対する運動療法について学ぶ。	佐々木祐二
3	関節可動域制限に対する運動療法	関節可動域を改善するための、他動運動やストレッチング、関節モビライゼーションなどの運動療法について学ぶ。	佐々木祐二
4	筋力・筋持久力低下に対する運動療法	筋力・筋持久力低下を改善するための運動療法について学ぶ。	山根裕司
5	バランス機能障害に対する運動療法	バランス機能障害を改善するための運動療法について学ぶ。	中村宅雄
6	協調性障害に対する運動療法	協調性障害を改善するための運動療法について学ぶ。	山根裕司
7	呼吸循環障害に対する運動療法	運動耐容能を向上させるための運動療法について学ぶ。	中村宅雄
8	高齢者に対する運動療法	高齢者に対する運動療法について学ぶ。	佐々木祐二

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学環、学校の授業実施方針による

【評価方法】

定期試験（筆記試験） 100%

定期試験および追再試験実施後、個別での問合わせに対しフィードバックを行う。

【教科書】

対馬栄輝 編 「Crosslink 理学療法学テキスト 運動療法学」 メジカルビュー社 2020年

【参考書】

市橋則明 編 「運動療法学 障害別アプローチの理論と実際」 文光堂 2014年

千住秀明 監 「機能障害科学入門」 神陵文庫 2010年

【学修の準備】

講義に臨むにあたり、機能障害学で学習した講義テーマに関連する内容を復習する（80分）

講義で行った内容について、まとめノートを作成し復習する（80分）

【ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）との関連】

（DP2）理学療法に必要な基礎的専門知識と技術を習得し、科学的思考のもと実践する能力を身につけている。

【実務経験】

山根裕司（理学療法士） 佐々木祐二（理学療法士） 中村宅雄（理学療法士）

(2026年度・リハビリテーション科学部)

【実務経験を活かした教育内容】

医療機関および研究機関での実務経験を活かし、理学療法治療学の基礎となる運動療法学の基本的知識を講義する。

【その他】

この科目は主要授業科目に設定している